

## Powerlite 取扱参考資料

### RB601コントローラ各スイッチ名称



RB601 コントローラ

- ① PROGRAM ↑ ボタン & PROGRAM ↓ ボタン  
(使用プログラム選択)
- ② ACTIVE ボタン  
(使用プログラム決定)
- ③ SHUTTER ボタン  
(シャッター開閉)
- ④ Q-SW ボタン  
(Q-SW の ON/OFF)
- ⑤ CHARGE ボタン  
(MANUAL 時使用)
- ⑥ FIRE ボタン  
(MANUAL 時使用)
- ⑦ AUTO/MANUAL ボタン  
(マニュアル/オート切替)
- ⑧ START ボタン  
(AUTO 時フラッシュ開始)
- ⑨ STOP ボタン  
(AUTO 時フラッシュ停止)
- ⑩ SHG 結晶角度調整ボタン  
(SHG 結晶位相整合角調整)
- ⑪ THG 結晶角度調整ボタン  
(THG 結晶位相整合角調整)

## 1. 立ち上げ手順

(1) 電源のメインスイッチを ON、及び 2 次冷却水を流して下さい。

(2) CU601 のキースイッチ ON にしますと、インターロックの確認が行われます。



(3) インターロック確認後、“MANUAL MODE”と表示されます。



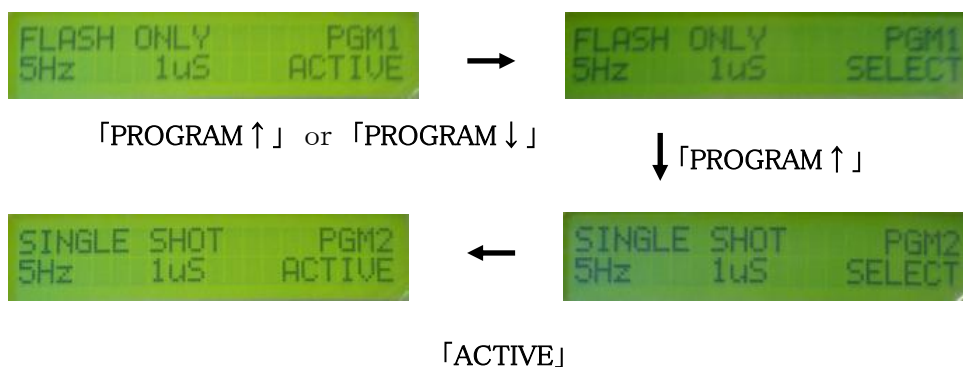
(4) RB601 の「CHARGE」(⑤) → 「FIRE」(⑥)の順に、2～3回繰り返しボタンを押して下さい。その後電源の CB ユニットの“SIMMER”が点灯していることを確認して下さい。点灯しない場合はさらに数回繰り返してみてください。

(5) RB601 の「AUTO/MANUAL」ボタン(⑦)により、“PGM”(PROGRAM)モードにして下さい。



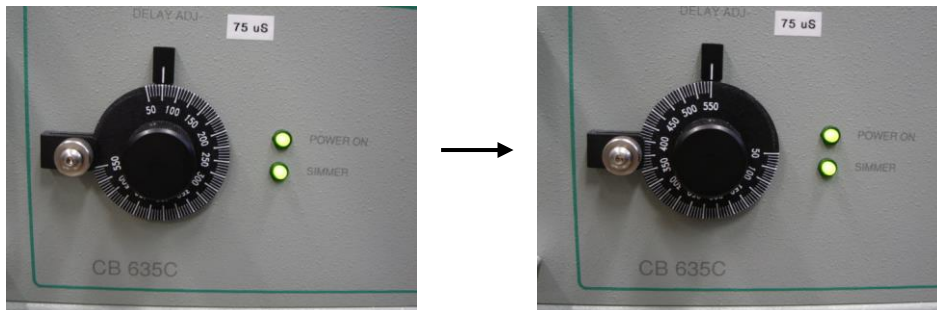
(6) “PGM1”が選択されていることを確認できましたら、RB601 の「START」(⑧)を押し、フラッシュを開始して下さい。この状態で約 30 分ウォーミングアップを行って下さい。

- (7) ウォーミングアップ後、RB601 の「PROGRAM ↑」あるいは「PROGRAM ↓」ボタン(③)を押すと、「PGM1」の下段の“ACTIVE”が“SELECT”に変わります。さらにボタンを押して頂くと“PGM”の番号が変わります。「PROGRAM ↑」あるいは「PROGRAM ↓」を押し、「PGM2」を選択して下さい。「PGM3」を選択しましたら、RB601 の「ACTIVE」ボタン(④)を押し、使用するプログラムを決定(ACTIVE)にして下さい。



(使用する PGM はレーザーの種類によって異なります)

- (8) (ご使用にあわせて省略可)FAMP 用 CB ユニットの CB デレイが 550 $\mu$ sに設定されていることを確認して下さい。550 $\mu$ sに設定されていない場合、550 $\mu$ sに設定して下さい。



- (9) RB601 の「SHUTTET」ボタン(⑤)を押すと、共振器内にある内部シャッターが開きます。続いて「Q-SWITCH」ボタン(⑥)を押すと、レーザー発振します。
- (10) 必要に応じて、パワーメータをモニターしながら、「結晶角度調整ボタン」(⑳)を押し、SHG 結晶の位相整合角を調整して下さい。

## 2. 立ち下げ手順

- (1) 「Q-SWITCH」ボタン(⑥)、「SHUTTER」ボタン(⑤)を押して発振を止め、シャッターを閉じて下さい。
- (2) 「STOP」ボタン(⑨)押し、フラッシュを止めて下さい。
- (3) 電源のキースイッチを OFF にして下さい。
- (4) 電源のメインスイッチを OFF、2 次冷却水を止めて下さい。